

IV 学識経験者（外部評価者）の総評

江原 眞智子

元小学校校長

- ◇ 市町村合併により新津山市が誕生してから5年。ビジョンや課題にそった日々の営みが教育現場にも求められる。合併による微妙な温度差、地域性を含め、それぞれの特徴・特性をいかした取り組みが課題であろうと考えていたが、各課・各校・各地域の努力で、新津山市としての落ち着きとまとまりがみえだしたようで喜ばしい。
- ◇ 各施策に対する取り組みや成果、課題の自己評価は総じて高い。しかし、各施策と施策の隙間を埋めたりつないだりする視点を、教育部門では大切にしたい。問題点・課題にどう向き合い、解決しようと努力しているのか、その辺りもぜひ知りたい。
- ◇ 市長部局と教育委員会との連携についても担当分野の明確化と相互乗り入れ・連携により、効率のある施策の推進が期待できる。
- ◇ 旧市内の中学校の学校給食も軌道にのり、全市で発達段階に応じた食育の指導が展開されているようで喜ばしい。一方、給食費の未納等への対応など、煩雑で悩ましいご苦労も多いのではないかとと思われる。
- ◇ 課題をもった研究への取り組み
研究を深める過程で、実態のとらえ方、分析、方策と進むうちに工夫も生まれる。幅広い研究を心がけ、将来を託す子供達のより健やかでたくましい成長のため、ぜひ頑張ってほしい。
- ◇ 津山らしさとは何だろう…津山だからできることは何だろう…
身につけてほしいこと、頑張らせたいことは、何だろう…
こうしたことを常に問いながら子ども達としっかり向きあい、ともに歩む教育活動を続けてほしい。
- ◇ 子ども達のよさをいっぱいみつけ、エールをおくる大人でありたい。
…子ども達の成長を見守り、共に喜び、共に笑う…。そんな支援者の輪がひろがることを期待しています。
…地域づくり、地域のきずなの再確認、親育ちの場づくりにつなげたい。
…家庭・学校・地域が、子ども達の見守り・育ちのサポートを。
…体力・気力の充実は日々の積み重ねの上に成り立つ。地域・学校・家庭が共に手を携え、頑張りたい。
- ◇ 点検・評価の報告書の作成、議会への報告などの過程で、今後の課題も明確になる。今年度はかなり、すっきりとした形でまとめられ、わかりやすいものとなった。
- ◇ 学力の向上、心の教育はすべての根幹となるもの。さらなる努力と向上を期待したい。

福田 邦夫

津山朝日新聞社代表取締役社長

教育委員会の教育に関する事務管理及び執行の状況が簡潔にまとめられ、自己評価も全般的に適切に行われていたように思います。

点検・評価については1年ごとに実施しなければならないため、次年度への課題については各課が永続的に取組んでいくべき課題と切り離して考える必要がありますが、その点が意識されていない項目がいくつかありました。この機会に単年度という限られた期間で行うべき課題を考え、具体的に示すことで次年度の方向性を含んだよりよい報告書になるでしょう。自己評価が自己満足度とならないためにも是非その点を意識していただきたいと思います。

教育委員会が抱える課題は多岐にわたり、一朝一夕に解決できないものも多いです。今後も広い視野と強い使命感をもって、各課が連携し一步一步着実に目標に向けて前進していくことを願っております。